

平野の 「いらっしやい」 発見

誰もが気軽にに入れる店に

「団子と日本茶の店「いらっしやい」

くらしのくふうフェスティバル(一面に関連記事)では、多くの作業所がバザーや模擬店などで参加しました。その中に、みたらし団子の香ばしい匂いの漂うお店「いらっしやい」がありました。「いらっしやい」は平野東に和風のお店を構えています。

平野公園の近く、平野というところで、減農薬の東商店街の中にある「いらっしやい」は、買い物帰りの方、ご近所の方、ここにこそセンターに来られる障害をお持ちの方など、さまざまな方の憩いの場になっています。

障害を持つ方も共に働く共働事業所として、平成十四年五月にオープンしました。「いらっしやい」という名前は漢字にする「互楽」。障害を持つ方は、何かと助けを求めらる側と見られがちですが、お互いに助け合って楽しく、という思いが込められています。

メニューはみたらし団子をはじめ、ぜんざい、あべかわ、抹茶など和風メニューが中心ですが、コーヒーやアイスクリームなどもひそかな人気を呼んでいるそうです。手作りの安全なものを、



持ち帰り用の販売も。「いらっしやいませ」といつも笑顔でお客様を迎えます。

こともあるけれど、体を動かして働くことが楽しい」と言います。



店舗前も広く、天気の良い日は、くつろぎスペースに。

昨年、店舗デザインや接客態度などが評価され、大阪市の優良店舗コンクールで市長賞を受けたことも、励みになっています。



店長の中谷さん

店内はバリアフリーになっており、トイレも広く、車いすの方が入りやすくなっています。店長の中谷さんは、「素材にこだわっています。自慢のお茶も何度も吟味して選んだものです。現在働いている人は、お店と工場をあわせて十五人。店長に怒られる

だわりの味、そして働く人の笑顔が素敵で「いらっしやい」は誰でも気軽に利用できる、「平野のいいところ」になりそうです。を伝えるというのは、な

な人に来てもらいたい」と言います。店内の落ち着いた雰囲気、ち着いた霧動の案内チラシ、社協新聞など地域によってさまざまです。

しかし、不特定多数の人々に何かを伝えるというのは、なかなか難しいことです。そこで、地域の広報活動に関わる方を対象に、「広報紙の作り方講座」を十一月に開催しました。

十一月に開催しました。約二十人が参加し、一回目は新聞社の方から新聞のレイアウトや見出しのつけ方などを教わり、二回目は、カメラマンの方の指導のもと、実際にカメラを手に、実践しました。

日頃の活動に役立つとあって、みなさん熱心に受講され、参加者どうし、情報交換もされていったようです。

平野区内二十二の地区社会福祉協議会において、さまざまな地域活動が行われています。なかでも広報活動は、行事・活動の案内や役立つ情報の提供など、住民にさまざまなことを伝える重要な活動といえます。具体的

度三回目の定例会は、瓜破西老人憩いの家が会場となり、当日行われていたふれあい喫茶活動の様子を見学しました。その後、各地域の活動や地域福祉計画についての勉強会が行われました。

地域の活動が活性化する中、施設もより地域に密着し、一緒に地域づくりを考えていく大切さ、また地域福祉計画に住民の本当の声が反映されるよう考える必要があることなどが意見交換されました。

まだまだ不確定な部分も多く残されていますが、どのような制度になるのか、本当に障害のある方にとって使いやすいものなのか、私たちみんなが真剣に考えていかなければならない問題なのではないでしょうか。

地域活動を応援

広報紙の作り方講座開催



つながっています

平野区社会福祉施設連絡会

みんなで考えよう

障害者支援費制度勉強会

子育て支援講演会

子育て支援講演会

「寄付ありがとうございます。」平成十四年八月から十一月までの間に、次の方々より、平野区社協善意銀行への預託をいただきました。皆様のお気持ちに感謝いたしますとともに、区内の福祉充実のために有効に活用させていただきます。

◆善意銀行への預託◆
《金銭預託》橋口頼通
平野区小売市場連合会、家根本シズ子、匿名希望(一名)。(順不同、敬称略)

◆物品預託の払出し◆
子供の施設等で使ってもらいたいと、ミシン Club より預託いただいた中古ミシンも合計二十台となりました。区内に限らず希望する養護施設に払出しをしたり、保育所、障害者施設、ボランティアグループ等に払出し、それぞれの活動に有効に使ってられます。払出し希望の団体は、区社協迄ご連絡ください。

平野区では、区内の社会福祉施設が集まって、施設連絡会(会長 後藤静男 特別養護老人ホーム愛和施設長)を作っています。高齢者福祉施設や障害児者福祉施設、児童福祉施設など、部門は違ってもお互い連携をもち、区内の福祉を総合的に考え、進めていこうという目的で、平成十年十二月に設立されました。以降、年四回の定例会において、情報交換や勉強会などを行っています。

とき：平成15年3月14日(金) 午前10時~12時
ところ：平野区民センター「コミュニティプラザ平野」(平野区長吉出戸5-3-58)
テーマ：「育てよう 子育ての輪！」
講師：大阪市立大学生活科学部 助教授 山縣文治氏
主催：平野児童館、トモノス平野
共催：平野区社会福祉協議会
※申し込みは平野児童館(☎6790-2800)へ。2月20日より受付開始。定員80名。先着順。

だれかのために、できること。

あなたの善意が赤十字活動を支えます

国際活動、災害救護活動、医療事業、看護師養成、血液事業
救急法・家庭看護法等の講習、
赤十字奉仕団、青少年赤十字、社会福祉事業

日本赤十字社大阪府支部平野地区

おもちゃ図書館 “にこっと”とは?

障害を持つ子どもや、お友達と遊ぶのが苦手な子どもたちが、親や兄弟、ボランティアと一緒にのびのび自由に遊んでいるところです。年齢制限はありません。

日時：毎月第2・4土曜日
午前10時30分～午後2時
場所：にこっこセンター
(平野区平野東2-1-30)
問い合わせ先：にこっこセンター
☎6795-2525

おもちゃ図書館“にこっと”では、去る12月14日(土) にこっこセンターで、クリスマス会を行いました。

今年は、ボランティア講座を実施した事で多くのボランティアが定着し、子どもたちと楽しくふれあいました。

“にこっと”にサンタがやってきた! おもちゃ図書館“にこっと”クリスマス会開催



子どもと一緒に楽しく紙芝居。

クリスマス会当日一段と冷え込みましたが、朝からボランティア達と一緒に、子どもから大人までみんなで輪飾りや壁画を飾り、会場の雰囲気づくりをしました。

普段は障害を持つ子どもたちが兄弟や親、ボランティアと一緒に自由に遊べる場面もありました。最後に、クリスマスプレゼントを配付する際、うさぎの着ぐるみを着たボランティアと一緒に、クラッカーをみんなでトッピング中



クラッカーをみんなでトッピング中

このように、ボランティア

中継しは親だせぬわ。おもちゃ図書館だより

ボランティア ビューローだより

☎6795-2200

活動紹介

クリスマス会当日一段と冷え込みましたが、朝からボランティア達と一緒に、子どもから大人までみんなで輪飾りや壁画を飾り、会場の雰囲気づくりをしました。

紙芝居を借りる、デコレーションの材料を買うなどを担当しました。また、ボランティアは紙芝居を歌ったり、プレゼントを作成したりしました。

紙芝居を読んでいる時子どもたちが「一緒に読みたい」と言って参加する場面もありました。最後に、クリスマスプレゼントを配付する際、うさぎの着ぐるみを着たボランティアと一緒に、クラッカーをみんなでトッピング中

スイッチから広がる可能性

大阪吉番の活動

大阪吉番が活動を始めて約二年。障害をもつ子どもたちの訓練施設である「大阪市更生療育センター」で出会った家族で立ち上げました。センターを卒業してからも、親子で楽しい活動を続けて

います。月一回の親どうしの勉強会の中で情報交換する以外に、子どもたちが楽しめるようなプログラムを考えています。親子で勉強会をする中で、「子どものしたいことを実現しよう」といった考え方にふれ、スイッチのついたおもちゃに出会いました。

例えば、パチンコ台のように取っ手を回して遊ぶおもちゃには、障害にに応じてレバーや紐のスイッチを取っ手を取り付けることで一層楽しく遊ぶことが

「障害をもっているというだけで、市販のおもちゃが使えないわけではありません。簡単なスイッチ操作でその子どもが持っている力を引き出しながら、楽しんで遊ぶことができます。スイッチ一つで、子どもの可能性が広がります。ぜひ、いろんな人にスイッチの

「その他にも、発語の困難な子どもが体を使ってスイッチを押したり引いたりすることで、自分の意思を伝えることができます。グループのメンバーである田崎さんや春木さんは、次のように言っています。「障害をもっているというだけで、市販のおもちゃが使えないわけでは

田崎 ゆかり
春木 裕美
☎090-69767970

子育て・親育ちの応援スペース

にこっこKIDSの活動

「親が笑顔で楽しくいることが、子どもの一番の幸せです。」昨年五月にオープンした「にこっこKIDS」の代表の宮本さんは語ります。少しでも親が子どもと一緒に楽しく向き合えるお手伝いをと、共感してくれたスタッフと共に一歩踏み出した。子どもとの関わり方や遊び方が苦手なお母さんでも、回を重ねるごとに他の参加者やスタッフと関わることで、変化した人もいます。スタッフの間を取り持ち、子どもを親と話し合う機会もありました。

「スタッフが、子どもを」
☎6796-0023



親子で楽しくほっと一息。

先日行われたくらしのくふうフェスティバルでは、参加しているお母さん達が中心になり、ボランティア、アイビュロー登録のボランティアと一緒に、楽しいかざりや出入り口の作成

多くの方に関わってほしい



新聞など身近な素材を使った楽しい遊びを学びます。

今年度おもちゃ図書館ボランティア講座を二回行いました。ボランティア活動や子どもとの遊び方、関わり方を勉強する以外に、実際に子どもたちと一緒に遊ぶ体験もしました。「ボランティア活動は、何か特別の事をするのではなく、まず自分自身が楽しむことが大事。子どもたちと一緒に楽しい時間を過ごしてください。」といった言葉に、受講生も活動を始めるきっかけをつかんだ様子です。

ボランティア募集

- ・子どもたちと遊ぶ
- ・おたよりづくり
- ・行事の企画、運営
- ・おもちゃの修理
- ・趣味を通じての参加etc

「にこっこ」では、随時ボランティアを募集しています。初めての方でも、ご参加ください。

☎6795-2200

高齢者・家族・地域の暮らしの相談窓口

在宅介護支援センター だより

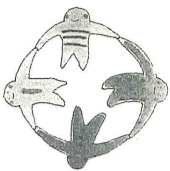


在宅介護支援センター

平野区には十一カ所の在宅サービスステーションがあり、
いろいろな取り組みをされています。今回は二ヶ所の在宅サ
ービスステーションの活動をご紹介します。

瓜破西地域在宅サービスステーション 〜てんそう苑〜

電話六七〇三―九七二二



瓜破西地域在宅サービスステーションてんそう苑は、平成十年四月に平野区で七番目の地域在宅サービスステーションとして誕生しました。

当初はデイサービスセンターと在宅介護支援センターでしたが、介護保険制度開始後は、ホームヘルパーの派遣とケアプラン作成を合わせて事業を行っています。



在宅介護支援センターでは、平日月曜日から金曜日の九時から十八時まで相談に応じております。相談の受付はお電話して

ただけで自宅に訪問いたしますので、お気軽にお申し込みください。

相談内容としては、介護保険サービスの利用や介護保険認定の申請に関わるものが中心ですが、介護認定が、介護認定で非該当となった方や、介護保険の対象にならない、障害をもたれている方の相談も受け付けています。

介護保険外サービス（配食サービス、ふれあい家事サービス、緊急通報システム等）の申し込みもいたします。

てんそう苑の一階には常時介護用品を展示しており、いつでもご覧いただけます。またパンフレ



「てんそういきいきフェアでの餅つきの様子」

いただけるように、介護教室を開催しています。また年に一度施設を開放して、福祉祭りを行って

今年十二月一日に「

参加されている皆様は

ア」と題して行いました。熱心に聴いておられ、今後もこのような機会をできるだけ提供し、地域の皆様に成長し、信頼される施設を目指したいと考えております。

長吉地域在宅サービスステーション 〜特別養護老人ホーム長吉内〜

電話六七九〇〇〇七

長吉地域在宅サービスステーションの最寄駅は「地下鉄谷町線・八尾南

川」から南の方角・大和川に向かって、徒歩八分程の長吉校区の南端に位置し、大和川に面した自然に恵まれた環境にあり、PL火花・長吉川辺秋祭りの際の絶好の花火観覧ポイントとなっております。

当ステーションは、平成六年八月開設の特別養護老人ホーム長吉に併設されており、この他に併設として「適所介護サービス事業（デイサービス）」「居宅支援事業所（ケ



アプランの作成」短期入所生活介護サービス事業（ショートステイ）も併せ持っており、地域のご利用者への介護サービスの提供とサービスの向上

に努めております。

これまでの活動は、当ステーションが長吉校区の南端にあることにより、長吉地域の方々への介護に係る相談や情報の提供等について、十分な広報活動が行なえておらず

反省しておるところです。いずれば地域の方々からの相談を待つのではなく、様々な地域の方々のニーズに応じた内容で、当方より地域に出向き、ご相談をお伺いさせて頂くなどの活動が、必要かつ重要であると認識しておりますが、現状では皆様方のご連絡をお待ちする状況にあります。

ご在宅での介護に関わることご相談内容でしたら、お気軽にお声掛けください。担当者不在のこともございますが、特別養護老人ホーム併設の強みを



「手にとって介護用品が見れる介護用品展示コーナー」

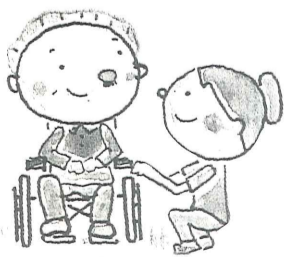
介護のワンポイント講座 〜お年寄りと暮らすために〜

永寿特別養護老人ホーム リーダーソーシャルワーカー
牧野 香織 氏



お年寄りと暮らすためには、まず家族が、介護が必要になったときのビジョンを作ることが重要です。主介護者は誰なのか、どこで介護をするのか、誰に（どこに）相談すれば良いか等を、あらかじめ家族で決めておくことが重要です。

現在の高齢社会では、誰もが介護者になる可能性があります。「老いる」ということを、自分にも置き換えて理解しなければなりません。また、介護で一番大切なのは介護力ではなく介護をする者と、介護を受ける者との関係です。介護力については、現在介護保険下でさまざまなサービスが用意されており、利用することが出来ます。しかし、介護関係までは介護保険では用意されておりません。介護関係は是非介護者として築きあげていただきたいのです。



『高齢者のための生活福祉講座』 受講生募集

一人暮らしや高齢者世帯の方を対象に、生活情報や福祉情報について学習します。

- 【内容】
- 2/27(木)「財産管理サービスと福祉サービスの利用について」
- 3/6(木)「マイケアプランって何だろう」
- 【時間】 両日とも13:30~15:30
- 【場所】 コミュニティプラザ平野・2階会議室
- 【定員】 40名(先着順)
- 【主催】 平野区老人福祉センター
平野区社会福祉協議会
- 【申込み方法】
電話で平野区老人福祉センターへ
☎ 6793-0880

「老い」を理解し、お年寄りに寄り添って、お年寄りの立場に立って、良い介護関係の下で介護をすることが、少しでも長く介護を続けるコツではないでしょうか。